

被災地支援だより

第 36 号 2017年1月22日

Tel. 042-482-3937/sdbchofuchurch@donboscojp.org/<http://chofu-church.ciao.jp>

被災者のための祈り（調布教会オリジナル）

いつくしみ深い神よ、被災された人々のために祈ります。

苦しみのうちにある人々を心に留めてください。一日も早く平穏な生活を取り戻すことができますように。また、亡くなられた人々が、あなたの光の中で安らかに憩うことができますように。

ともに祈るわたしたちが、被災された人々と心が一つになり、互いのうちにキリストを見出すことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

調布教会信徒の片瓜和夫さんは、ほぼ毎月ボランティアとして被災地を訪れていらっしゃいます。10月、11月、12月に行かれた時の活動報告をしてくださいました。

【10月】

今回は、片瓜と、高浪さん、玉林さん、町田さんの4人で車で訪問することになった。

10月10日、21時30分コンビニで待ち合わせ、各自自分の買い物をして出発。サービスエリアで3回休みを取り、11日朝7時頃大槌に到着、仙台から来ている菅原さんが朝食を作ってくれた。すぐに1時間の仮眠をとり、9時30分頃から打合せ。

10月11日

赤浜第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、片瓜、菅原(仙台)さん、
スタッフ 道又

いつものように犬が吠えて迎えてくれる。いつものメンバーでこの仮設では必ず行うラジオ体操をしてから施術に入る。嬉しいことに次から次へと人が来



て30分予定をオーバーしてしまった。アイドルの陸君も来てくれた。

女性 10名 支援さん 1名 子供 1名

大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、高浪、片瓜、菅原さん スタッフ 西舘、道又

この仮設は人数は10人以内だが、症状が重い方が多い。時々来られない方がいると心配である。

杖でやっと歩いていた方が、かなり普通に歩けるようになり、やりがいを感じた。

全身を施術する方が数名おられるので、多少時間がかかる。

反面症状が重いにも関わらず、家を新築して来なくなった方もいて心配である。

女性 6名 その他 女性3名 (店等)

分ち合い 17:30～

- ・夢ハウスで子供と一緒に昼ご飯を作った(久保君18才ボランティア)
- ・お茶っ子をゆっくりと担当させてもらった(菅原さん)。
- ・調布教会のメンバーの誠心誠意に感心した。(町田)
- ・ちょっと疲れた。
- ・写真を届けた、陸ちゃんのパパと話が出来た (スタッフ)

↓最高齢 97 歳の方、いつも元気！

10月12日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、町田、片瓜 菅原さん、

寺田さん(初参加、長野) スタッフ 道又

自治体の催しと重なってしまい、いつものメンバー

が殆ど来られなかった。加えて風邪も流行っていた。

最年長のオーバーが出迎えて下さった。いつも施術

する支援さんも自転車事故で痛みがあり施術不可であった。兼太郎さんは風邪をひいて自宅だったのでお伺いして施術させていただいた。

女性 2名 男性 2名



安渡第3仮設

活動 13:30～15:00

メンバー 玉林、高浪、町田、片瓜 菅原さん、寺田さん

この仮設では居住に使用していた部屋を集会場として使っていたが、壁を取り払って貫き施術が楽になった。今回も元網本の木村さんに来て頂いて、話に花が咲いた。男性が来て、話に花が咲く。そういった場所になってくれればとても嬉しい。

女性 5名 男性 1名

分ち合い 17:30～

- ・子供の面倒を見た。皆で焼きそばを作った。(久保君)
- ・小国勝郎さんは漁の話をしてくれた。気になった人と話が出来た。(玉林)
- ・仕事を辞めて有意義な時間を過ごしてみたくて大槌にやってきた。皆の笑顔が良かった。(寺田裕子さん)
- ・木村さんの話、イワシが陸で取れると、ボラが大漁、カモメが居なくなる、カラスもいなくなる等地震の前触れ(町田さん)
- ・風邪が蔓延して居るのが心配。
風邪が心配である。我々もうつしたりうつされたりすることに注意が必要であると思う。

【11月】

今回は、片瓜と、高浪さん、玉林さん、原さん、吉田さん(北浦和教会)の5人で車で訪問することになった。雨が降り運転をする玉林さんに大分負担がかかった。サービスエリアで6回のやすみをとって、遠野からは片瓜の運転で大槌まで行った。15日朝7時頃大槌に到着、長崎教区から3人の男性と2人のシスターが来られていた。すぐに1時間の仮眠をとって、9時30分頃から打合せ。

11月15日

赤浜第3仮設

出発 9:40～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、原、吉田、片瓜、シスター2名(聖母の騎士) スタッフ 道又
仮設の周りは盛り土が進んできている。相変わらず道筋が変化する。

この仮設では必ず行うラジオ体操をしてから施術に入る。

シスター方も大変喜んで下さった。シスターはすぐに仮設の方々に溶け込みお話をしていた。

アイドルの陸君は今回は来てくれず寂しい思いをしていたら、後かたづけをしていた時にママと二人で来てくれた。保育園の体験入園に行っていたそうである。

女性 8名 支援さん 1名

大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、高浪、原、吉田、片瓜、シスター2名(聖母の騎士) スタッフ 西館、道又
到着すると症状がかなり重い方がすでに待っていて下さった。この支援さん(男性)は、とても手先が器用でバック、ジーパンの染色、等を話題としてほめていた。いつものメンバーが来て下さって、充実した施術を行うことが出来た。

女性 8名 その他 女性3名 (店等)

信者さんでパンの工房をなさっている方がとても疲れていたのので、少し施術していたところ、経営の問題などで精神的に疲れていたのを、シスターにお話したところ、適切なアドバイスをなさって下さり、聞いていて感激した。



分ち合い 17:30～

- ・2か月ぶりに来て嬉しい気分、石井さん(患者さん)がスリムになっていた。(原)
- ・何か何もないうちに終わった感があるが励ましあっている雰囲気を見られて良かった。(お告げの MARIA 会片山シスター)。
- ・かなり疲れていた。比較的マッサージ機を使用した。(玉林)
- ・今回は赤浜で初めて来た人がいたが、陸君が来れなくなるのは寂しい。(スタッフ道又)
- ・仮設以外でもお話を聞く事が出来た。
- ・今回で2回目ですが、お互いを支えあっていたり、言えないこともある事を感じた。(シスター岩間)
- ・2012年に片瓜と会い生利さん(スタッフ)を紹介された。調布の人たちと一緒に活動していると支えられている感がする。(吉田北浦和教会)

11月16日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、原、片瓜 吉田さん

最年長のオバーが前回同様出迎えて下さった。

兼太郎さんヤスさんの姿が見えない。

支援さんは軽めに少しだけ施術した。少ししたらスタッフの生利さんが来てくれたので、小国夫妻の仮設

↓ 兼太郎さん、痩せてしまった



を訪問することにした、兼太郎さんは風邪をこじらせ、肺炎で2週間入院していたそうである。ほほがこけて痩せていたので心配である。お二人は大変喜んで下さった。もう96歳である。目頭が熱くなった。身体を摩らせていただいた。その後他のメンバーも来て少しお話が出来た。
女性 4名 男性 2名

安渡第3仮設

活動 13:30~15:00

メンバー 玉林、高浪、原、片瓜 吉田さん シスター2名

パンを中心とした食事をすませ、仮設についたが珍しく誰もいない。支度をしてから外に出たら急な坂道をバッチャンが二人登ってきた。シスターとも合流して患者さんが来るのをまつた。87歳の鈴木の子バッチャン、息子さん夫婦、木村さんも来てにぎやかに施術開始。おまけに新しい方も1名来られて充実した活動が出来た。

女性 6名 男性 2名

分ち合い 17:30~

- ・金沢さん(仮設住民)の息子さんのお嫁さんが交通事故で亡くなっていた。とても悲しい。我々にそれを打ち明けて下さった。少し地域に溶け込めた感があった。(玉林)
- ・2か月ぶりに来て小国勝郎さんの症状にびっくりした。シスターの人と接する力に感心させられた。(原)
- ・イベントの一環で「さおり織」のイベントを行った。見学の方が8人くらい来てくれた。(スタッフ西館)
- ・相変わらず風邪が心配である。加えて交通事故も他人ごとではない。

【12月】

12月は片瓜が私用で参加できなかったの、原さんをお願いしました。

-- はじめに --

今回は片瓜さんが休養のため欠席でした。40回以上も訪問されています。

「お休みしてもいいですよー」玉林さんが代打でマッサージいつもの車の運転重責を担って大活躍してくださいました。玉林さん「今まで片瓜さんが本当に大変な思いで大槌に通ってきていたのがよくわかりました」



↑ 事務所にはいつも古木神父様がいます

12/13 午前

大槌第3 10:00-11:30

メンバー 菅原(仙台)スタッフ 菊池、西舘、町田、高浪、原

町田さん、高浪さんも二人がかりで電動マッサージ機で汗を流していました。原さんはコロコロを使って皮膚のマッサージ。

女性 10名参加 心待ちにして下さる仮設の方々です。

一番重症だった石井さんが遅くなってから駆けつけてくださった。少しずつ少しずつ快方に向かっている。ダイエットもできていました。編み物の先生がいるせいか、手編みのものやスタンプのTシャツや、いろいろな手作り作品が多いです。カゴも売ればいいのに、と思うほどの立派なものがあります。シスターカシミラは、ポーランドの方で、ソーリヒ神父のことを知っておられました。

12/13 午後

メンバー 玉林、町田、高浪、菅原、シスターカシミラ、シスター数小谷、原、スタッフ菊池

女性7名 子供1名

いつも午前中に行くのでラジオ体操で始まっていましたが・・・今回はいつものお出迎えのワンちゃんの子でスタートしました。

仮設でも新巻鮭を軒下につるして北国ならではの風物詩です。この仮設では人気 No.1 のリクくんが登場します。赤ちゃんだったのに、今はおしゃべりくんです。今回はマッサージに興味を示し、ぶるぶると床を這わせて恐る恐る遊んでいました。

分かち合い

- ・代わりに肩もみをしましたが、みなさんが喜んでくれ、いたわりを感じうれしかった。(玉林)
- ・カリタスの活動がしみてきている。かかわりの中で前向きに生きている。元気をいただいた。(シスター)
- ・月に一度のマッサージを心待ちにして下さるのがうれしいです。
- ・金太郎さんのお見舞いに行けたことが嬉しかったです。

「ありがとう」のことばでは足りない。「感謝」でも足りないことばにしてくれました。玉林さんの手を握り、手が離れなくなると泣かれると、感無量の想いでした。

12/14 午前

安楽第3 仮設 10:00-11:30

メンバー 玉林、町田、高浪、菅原、原、スタッフ菊池

男性2名 女性4名

鈴木のぼっちゃんの息子さん嘉平さんは猟師だけあって、マッサージの施術を跳ね返すほどのいい体。よく話して下さるようになり、鹿や熊と出会ったときの面白い話をしてくださる。

鈴木のバッチャンも方言で話される人の通訳をしてくれます。もう一人の人気者、木村さん、武勇

伝をいつも話してくれて楽しくなります。

12/14 午後

安楽第 2 仮設 13:30-15:30

メンバー 玉林、町田、高浪、シスター小敷谷、
シスターカシミラ、管原(仙台)、原、スタッフ菊
池、生利

男性 1 名、女性 5 名

いつも一番乗りのタヨさん 長老(95 歳)、遠藤
さん、ヤスさんも登場し、格言名言をバリバリ話
してくれました。ヤスさんの感想ノートが 11 冊に
なり新聞に載っていました。

なんととってもクリスマスモード、サンタやいろ
ろな帽子をかぶり、準備していると、スタッフの生
利さんが自前でそろえたピコ太郎の衣装で、
今大流行の PPAP を踊り、笑い収めぐらい大笑
いしました。

夕方兼太郎さんのお見舞いに。昨日より元気で
活力がありました。点滴もはずされペンを渡す
と、「感謝」と書いてくれました。クリスマスの動画
を見てもらうと大笑いしてみなさんの名前もで
てきました。

(文責 原)



↑ピコ太郎の衣装でマッサージする玉林さん

↓入院中の兼太郎さんのお見舞いに



【東日本大震災被災者の方々のためのロザリオ】

2011 年 3 月 11 日に起こった大震災の被災者の方々、未だに仮設住宅で生活されて
いる方々、現地で懸命に活動されている方々のために、有志と共にロザリオの祈りを捧げ
ています。まだまだ祈りを必要とする被災地の方々のために、神様の導きと支えを願いた
いと思います。どなたでもご参加いただけますので、是非ご一緒に祈りましょう。

日時 : 毎週木曜日 午後 5:50~6:20 サレジオ神学院地下聖堂にて